

血液内科および小児科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	造血細胞移植医療の全国調査
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	血液内科、小児科
研究責任者	助教 後藤峰明
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	主たる研究実施機関：日本造血細胞移植学会 理事長・研究責任者：岡本 真一郎（慶應義塾大学 血液内科教授） 参加施設：造血細胞移植医療に携わるわが国のすべての医療機関（日本造血細胞データセンターホームページで閲覧可能）
研究の意義・目的	本研究は、わが国における造血細胞移植医療の状況、治療成績などを調査する疫学研究です。
対象となる患者さん	1993年1月から2017年7月までに造血幹細胞移植及び細胞治療などを受けられた患者さん
研究の方法	わが国で行われた造血細胞移植における患者さんの診療情報などのデータを担当医が専用の入力プログラムに入力します。 本研究の研究計画書は、どなたでも日本造血細胞データセンターホームページからダウンロードにより入手でき、研究の方法などに関して閲覧可能です。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2027年12月31日
研究に用いる試料・情報	患者：移植時年齢、生年月日、性、診断日、移植日、診断名、移植時病期、移植の種類、ドナー情報（性、関係）、HLA、前処置、移植細胞数、GVHD予防法、生着の有無及び生着日、GVHDの有無、二次性悪性腫瘍の有無、移植後の再発の有無、生存状況など ドナー：ドナー種類（患者との関係）、性、体重、採取時年齢、CMV抗体検査の有無、ドナー番号、HLA、採取日、採取幹細胞の種類、重篤有害事象、治療中・服薬中の疾患（合併症）、既往歴、採取時投与薬剤、採取後の安全性確認など
外部への試料・情報の提供	入力プログラムがインストールされている専用のコンピューターに情報を入力、暗号化されたデータセットとしてサーバーへ送信
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。ただし、試料・情報が個人を識別できる場合

場合	のみ対応可能です。
その他	文書同意を得て実施されている方はこの限りではありません。
問い合わせ先	愛知医科大学 内科学講座（血液内科） 担当者：助教 後藤 峰明 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 77195）